



やきものの産業ミニトーク

日本の瓦の歴史と 三州瓦の発展



いろいろな形状の瓦
(愛知県陶器瓦工業組合)



約 1400 年前の日本最古の瓦が葺か
れている元興寺(奈良市)の屋根



名古屋城本丸御殿に使われた
三州瓦製鬼瓦(家紋は徳川葵)

《講師からのメッセージ》

三州瓦は、江戸時代の中期頃に始まったと言われ、現在は高浜市、碧南市、半田市を中心に製造されています。愛知県は全国の瓦生産の7割近くのシェアがあります。日本の瓦の歴史を見ながら、なぜ三州瓦が発展してきたかを考えてみます。

関連展示

やきものの産業あれこれ

瓦を含め土管やタイル、ガラス製品、食器など窯業に関する資料を展示・貸出します。

期間：11/9(金)～2/27日(水)

場所：愛知県図書館 4階

講師：星 幸二氏

(あいち産業科学技術総合センター三河窯業試験場)

日時：平成30年12月1日(土) 14:00～15:00 (13:45開場)

場所：愛知県図書館 1階エントランス Yottekko(ヨツテコ)

名古屋市中区三の丸 1-9-3 電話:052-212-2323(代表) (申込不要・入場無料)

【交通案内】

●地下鉄 鶴舞線または桜通線「丸の内」下車 8番出口

・鶴舞線「丸の内」駅から徒歩約8分

・桜通線「丸の内」駅から徒歩約15分

●市バス 幹名駅1系統・名駅14系統

「愛知県図書館」下車 徒歩3分

※駐車場(有料)は台数に限りがあります。

公共交通機関のご利用をおすすめします。

